

産業振興施設 評価結果一覧表

評価項目	指定管理者自己評価結果	評価機関評価結果
I. 総則		
1. 施設の目的に基づいた基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されており、職員が理解しているか。	A A
2. 施設目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設目的を達成できているか。	A A
3. 従事者の勤務実績・配置状況	管理職を含む常勤従事者及び非常勤従事者の勤務実績、配置状況は適切か。	A A
4. 従事者のマナー	利用者が気持ちよく利用できるよう、利用者に対する従事者の接客マナーは適切か。	A A
5. 施設の設置目的を実現するために必要な人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組がなされているか。	A A
II. 施設・設備の維持管理		
1. 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A A
2. 備品の管理	施設の備品が適切に管理されているか。	A A
3. 清掃業務、植栽・樹木等の維持管理業務	利用者が快適に利用できるよう、清掃が行き届いているか。施設周りの植栽・樹木等が適切に管理され、利用者が快適に過ごせるような良好な景観が保たれているか。	A A
4. 整備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	A A
5. 施設衛生管理業務	施設の衛生管理や感染症対策を適切に行っているか。	A A
III. 運営業務及びサービスの質の向上		
1. 利用実績及び施設の稼働率	評価実施直前の2年間の施設稼働率及び利用実績の推移につき、半期毎（4月から9月、及び10月から3月）の状況を確認する。	A A
2. 利用しやすい受付案内の実施	利用者が利用しやすい受付案内を実施しているか。	A A
3. 適切な利用情報の提供	すべての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な利用情報の提供を行っているか。	A A
4. サービス水準の確保	個々のサービスについて、対応従事者によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取組を行っているか。	A A
5. 従事者間での情報共有化	従事者間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A A
6. 個人情報の保護	個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A A
7. 事故防止対策への取組	事故防止のための体制の構築・取組を行っているか。	A A
8. 事故発生時の対応体制の構築	事故発生時の対応体制が確立されているか。	A A
9. 災害発生時の対応体制の構築	災害発生時の対応体制が確立されているか。	A A
10. 利用者の意見・苦情を抽出し、解決する体制の構築	利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。利用者の意見や苦情を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A A
11. 利用者アンケートの実施	サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A A
12. 自主事業の適切な実施	利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。	A A
IV. 地域及び地域住民との連携		
1. 地域や地域住民との交流・連携の取組	地域や地域住民との交流・連携に関する取組を実施し、地域交流の支援を実施しているか。	A A
V. 収支状況		
1. 管理経費（指定管理料）等の執行状況	管理経費（指定管理料）は適正に執行されているか。	A A
2. 収支決算状況	予算と決算に大幅な相違がないか。収入－支出がプラスになっているか。	+ +
3. 利用料金収入実績 ＝該当施設（施設）のみ評価を実施する	事業計画書等で示した利用料金収入の目標値がどの程度達成されているか。	103% 103%
4. 経費節減の取組	経費節減のための努力を行っているか。	A A

項目	指定管理者自己評価	第三者評価機関特記事項
I. 総則	指定管理者として、施設の目的を達成するための管理運営は、概ねできているものと考えます。	基本理念や運営方針が随所で掲示され共有されています。各種マニュアルの整備や研修によって少ない人員でも円滑な運営ができています。
II. 施設・設備の維持管理	「管理実施計画書」に基づき、建物や設備等を適切に管理し、利用者の安全性が確保されているものと考えます。	総じて適切な維持管理と広い苑内にもかかわらず行き届いた清掃ができています。
III. 運営業務及びサービスの質の向上	個人情報を適切に管理し、常に確かな情報提供を図っております。少子高齢化の加速に伴い、利用者層も変遷しておりますので、今後はアンケート等を有効に活用し、多様化する市民ニーズに応えていくことが肝要であると考えます	従事者は利用者に積極的に声かけし、気持ちよく散策できる環境を整備しています。フラダンス教室などの新規の自主企画もあり、利用者数は伸びています。アンケートの要望をふまえて、従事者が苑内のベンチを手作りする取組も行われています。
IV. 地域及び地域住民との連携	地域社会や近隣自治会活動を共にすることにより、概ね連携がとれているものと考えます。今後も積極的に地域住民との交流を図り、情報交換を行ってまいります。	地域のお祭りに協力したり、近隣中学生の職場体験の受入も行っています。近隣の自治会などとの連携も円滑に行われています。
V. 収支状況	今後も健全な収支を目指し、利用者増による増収、経費節減に努めてまいります。	計画をオーバーする支出がありました。が、補填処理が行われ概ね適正な会計と認められます。施設と協会で会計の二重チェックが行われています。
VI. その他	職員全員が公共施設に従事している認識を強く持ち、施設の管理運営において市民に有益な情報を提供しながら、サービスの向上に努めています。	短期で退職した従事者の例はなく円滑な職場環境が行われています。冬に咲くチューリップの栽培など、意欲的な取組が企画されています。

評価結果についての講評
市民に愛され、季節を感じられる公苑として、きめ細かな運営に心掛けています。従事者は利用者に対して積極的に声かけし、気持ちよく散策できる環境を提供しています。各種マニュアルの整備や研修の充実によって、少ない人員でも円滑な運営ができています。アンケートの要望をふまえて、従事者が苑内のベンチを手作りする取組は経費節減にも貢献しています。

指定管理者からの意見
今回の評価については、大宮花の丘農林公苑の管理運営に対する取り組み姿勢が評価されたものと考えます。なお、備品番号シールの摩耗ですが所管課へ依頼し順次張替えを行います。収入部分の報告書式につきましては、今後所管課と協議してまいります。その他はこの評価結果を従事者全員が管理運営に活かし、来苑者が満足して頂けるサービスの質の向上に努めていきます。